

伊集院保健所感染症情報

2026年第20週（令和8年5月11日～令和8年5月17日）

【お問い合わせ先】 〒899-2501 鹿児島県日置市伊集院町下谷口 1960-1 鹿児島地域振興局保健福祉環境部（伊集院保健所）

TEL (099) 273-2332 / FAX (099) 272-5674 / E-mail kago-kenko-shippei@pref.kagoshima.lg.jp

鹿児島地域振興局 URL <http://www.pref.kagoshima.jp/ak01/chiiki/kagoshima/index.html>

● 定点把握感染症

管内流行発生警報発令！： A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎、ヘルパンギーナ

管内流行発生警報発令中：咽頭結膜熱、手足口病

定点医療機関【ARI2（インフルエンザ・COVID）、小児科1、基幹定点1】

疾患名	警報基準値		注意報	伊集院保健所管内				先週からの増減	県	
	開始	終息	基準値	第17週	第18週	第19週	第20週		第19週	前週からの増減
ARI（急性呼吸器感染症）	—	—	—	75.00	103.00	41.00	83.50	↗	36.44	↘
インフルエンザ	30	10	10	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.11	↘
COVID-19	—	—	—	0.00	0.50	0.50	0.50	→	0.51	↗
咽頭結膜熱	3	1	—	1.00	3.00	2.00	1.00	↘	0.81	↘
A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	—	10.00	10.00	3.00	10.00	↗	2.26	↘
感染性胃腸炎	20	12	—	1.00	0.00	1.00	2.00	↗	2.97	↘
水痘	2	1	1	1.00	0.00	1.00	0.00	↘	0.32	↘
手足口病	5	2	—	0.00	9.00	6.00	32.00	↗	3.81	↗
伝染性紅斑	2	1	—	1.00	0.00	0.00	1.00	↗	0.26	↗
突発性発しん	—	—	—	0.00	1.00	1.00	1.00	→	0.35	↘
ヘルパンギーナ	6	2	—	1.00	4.00	0.00	9.00	↗	0.52	↘
流行性耳下腺炎	6	2	3	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.00	→
R S ウイルス感染症	—	—	—	2.00	1.00	0.00	3.00	↗	1.45	↘

※警報域：太文字で赤色の塗りつぶし、注意報域：太文字で黄色の塗りつぶし

● TOPIC

6月1日から6月7日はHIV検査普及週間です！

エイズ（後天性免疫不全症候群）とは、HIVと呼ばれるウイルス（ヒト免疫不全ウイルス）に感染することによって身体の免疫力が徐々に低下し、通常、健康であれば何でもない細菌やウイルス、微生物によって、感染症や悪性腫瘍（癌）などに罹りやすく、また治りにくくなる病気です。

HIVの感染経路は、性行為による感染、血液を介しての感染、母子感染に限られ、それら以外の日常生活では感染しないことがわかっています。

◎保健所では、HIV検査普及週間にあわせ、以下の日程で検査を実施します。

検査の希望がある場合は、必ず電話にて事前予約をお願いします。

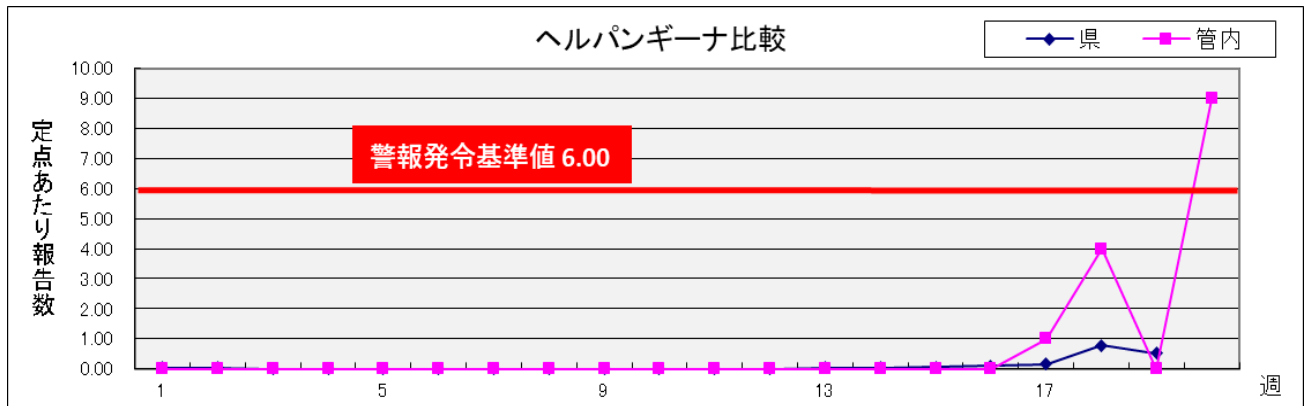
実施日：6月1日（月曜日）17時から19時

検査予約締め切り：5月27日（水曜日）17時まで

連絡先：099-273-2332（伊集院保健所）

● 注意すべき感染症

・ヘルパンギーナ（流行発生警報発令！）



第20週の伊集院保健所管内におけるヘルパンギーナの報告数は、9人でした。年齢別では、1歳（5人）、6カ月～11カ月・2歳・3歳・6歳（各1人）でした。

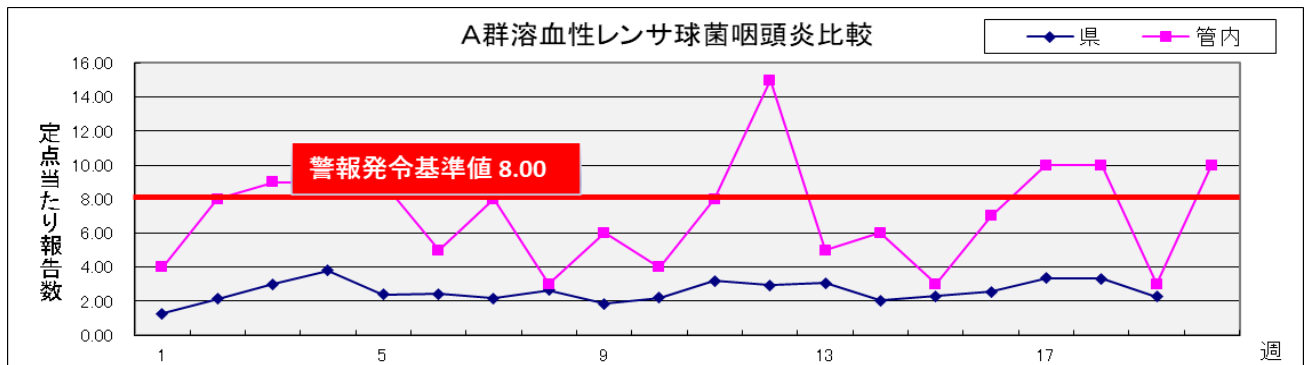
ヘルパンギーナは、発熱とともに、のどに痛みと水疱が現れる「夏かぜ」の一種です。

感染症発生動向調査によると、乳幼児を中心に5歳以下が全体の90%以上を占めます。病気の原因となるウイルスは、主にエンテロウイルス属のkokサッキーウイルスA群です。

主な症状は、感染してから2～4日後に、突然の発熱に続いて、のどに痛みと水疱が現れます。発熱は1～3日続き、食欲不振、全身のだるさ、頭痛などを起こします。一般的に経過は良好で、2～3日以内に回復します。しかし、合併症として、熱性けいれん、脱水症、小児ではまれに髄膜炎や心筋炎などの注意が必要です。

ヘルパンギーナは、発症後2～4週間頃まで便からウイルスが排せつされるため、発症した乳幼児のおむつ交換を行う時は、排せつ物を適切に処理し、流水と石けんでしっかりと手洗いをしてください。また、咳やくしゃみをする際は、マスクを着用したり、ティッシュで口を覆うなどの咳エチケットを心がけましょう。

・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎（流行発生警報発令！）



第20週の伊集院保健所管内におけるA群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は、10人でした。年齢別では、6歳（2人）、6カ月～11カ月・1歳・2歳・3歳・5歳・7歳・8歳・9歳（各1人）の報告でした。

感染すると、2～5日の潜伏期間を経て、突然の発熱や全身倦怠感、咽頭痛で発症し、舌が莓のように赤くザラザラとした状態になることもあります。

患者の咳やくしゃみなどのしぶきに含まれる細菌を吸い込むことによる「飛沫感染」、あるいは、細菌が付着した手で口や鼻に触れることによる「接触感染」が主な感染経路です。

患者と濃厚接触を避け、手洗い、咳エチケットなどの一般的な予防法を励行しましょう。

○学校における感染症による出席停止の状況5/11～5/17（出典：学校等欠席者・感染症情報システム）

今週は、感染性胃腸炎2人、手足口病が1人報告されています。

自治体名	疾患名	感染性胃腸炎	手足口病
日置市		0	1
いちき串木野市		2	0
三島村		0	0
十島村		0	0
計		2	1